

第21回『JA成田市 稲作り体験教室』(田植え)の開催

5月22日(日)に21回目の「稲作り体験教室」が開催され、田植えを行いました。稲作り体験により、食育を行うもので、小学生家族約50組、総勢200名余りが参加しています。体験教室は年4回実施され、4月に「種まき」を行い、5月が「田植え」です。体験教室は、成田用水土地改良区副理事長さんの田んぼを借りて実施しており、成田用水土地改良区と水資源機構がイベントに参加しています。私たちにとって毎日欠かせない「食」を親子で一緒に汗を流し、育てたものを家族で味わう子とを通じて「食の大切さ、安全性、伝統ある食文化の維持」を伝えることを目的としています。

小泉成田市長挨拶では、「よい米をつくるには百の作業がある。だからお百姓さんのつくった米は感謝して残さず食べましょう」、成田用水土地改良区鈴木事務局長挨拶では、「米をつくるのに必要な降雨量は約1m分の高さが必要。だから成田用水の水も必要。」とのお話があり、子供たちも真剣に聞いていました。



小泉 成田市長挨拶



成田用水土地改良区 鈴木事務局長挨拶



参加者全員で手植えます



水機構職員もお手伝い



田植えが終わった後は田んぼフラッグ。子供から大人まで泥だらけで競いました。



成田用水のブースで魚やかブトムシ幼虫を配布。子供に大人気でした。